

1. 学年・教科・単元名 2年 算数科 「ひょうやグラフにせいりして」

2. 実践者（所属） 佐藤 拓（柿生小学校）

3. 使用する機器・メディアなど

入 力		ソフト, コンテンツ	出 力	
<input type="checkbox"/>	教材提示装置	Web サイト ()		50 インチ大型テレビ
<input type="checkbox"/>	コンピュータ		<input type="checkbox"/>	電子黒板
	デジタルカメラ	PC ソフト ()		プロジェクタ
	SD カード			プリンタ
	デジタルビデオカメラ	DVD ソフト, 放送番組 ()		
	DVD プレイヤー			
その他 ()				

4. ICT 活用のねらい（資料「教育の情報化に関する手引」文部科学省 2009 年）

教師が活用する場面		児童が活用する場面	
	興味・関心を高めるため		情報を収集・選択するため
	課題を明確につかませるため		文章, 表や図にまとめるため
<input type="checkbox"/>	わかりやすく説明したり, 児童の思考や理解を深めたりするため	<input type="checkbox"/>	わかりやすく発表したり表現したりするため
	知識の定着を図るため		知識の定着や技能の習熟を図るため

5. 学習活動の流れ

学習活動 (☆分)	ICT 活用の留意点等
1. グループごとにまとめた表やグラフを発表する。 ・すきなあそび ・すきなべんきょう ・すきなたべもの	<ul style="list-style-type: none"> ・グループのテーマごとに, 表やグラフにまとめたものを教材提示装置に映して発表させる。 ・グループによっては, スキャナでコンピュータに取り込み, 電子黒板を使って書き込みながら発表させるのもよい。 ・最後に, どんな表がみやすいか, グラフにするかどうかを話し合う。

6. 実践のポイント

2年生にとって, 発表のために画用紙や模造紙にかくことは大変で時間もかかる。プリントにかいた表やグラフをそのまま映し, 大きく見せることで, より効果的に発表することができる。